

FANTIC RACING

ファンティック・レーシング・ニュース
2025年3月4日

Fantic XE300、イタリア選手権エンデューロ開幕戦で勝利を飾る



イタリア選手権エンデューロがイタリア南部のコリアーノで開幕し、ミナレリ製エンジンを積むファンティック・XE300 がそれぞれのクラスで大きく活躍した。ケビン＝クリスティーノはジュニアクラスで2ヒートとも優勝、ファンティックがサポートするプライベートチーム、スペシアのマッテオ＝パヴォーニは初の300クラスでのポイントを稼ぎ出した。ピエトロ＝スカルディーナも125クラスで活躍し、2位を2戦連続で獲得している。

3月最初の週末は、イタリア選手権エンデューロの2025年シーズンの開幕戦である。

昨年のジュニアクラス・チャンピオンであるケビン＝クリスティアーノは考えられうる最高のスタート、すなわちフューエル・インジェクションを装備するファンティック XE300 でダブル・ウィンを飾った。エンデューロを走らせるチーム・スペシアはファンティック・ファクトリーの直接的なサポートを受けており、ファクトリー・ライダーであるケビンはここでライバルを退け、選手権ポイントを40点確保、最高のシーズンインとなった。

ファンティックが、チームを通じてサポートするライダー、マッテオ＝パヴォーニは XE300 を着実にものにし、初日を8位、総合でも10位にマシンを運び込み、300クラスでのフロントランナーの一員となった。

125クラスでは、右手小指を骨折するというベストとは言いがたいコンディションながらも、ピエトロ＝スカルディーナが最高のパフォーマンスを発揮。金曜日夜のスーパーテストではXE125で総合10位、クラス1位のタイムを記録した。週末を通じてレースを手堅くまとめたスカルディーナは土日の両日ともに2位に入賞し、その実力を印象付けたのである。

一方、シモーネ＝アルベルゴニ率いるファンティック・ファクトリーレーシング・エンデューロは今一つ歯車がかみ合わず、ジェド＝エツェルズがスタート前に痛めた右足首の悪化でスペシャルテストをキャンセル。土曜日のレースも断念した。日曜日は何とかスタートラインに立ったものの、リスクを避ける走りに徹し、外国人クラスでの13位でレースを終了。ファンティック XEF250 にまずは身体をなじませるレースとなった。

チームメイト、アルビン＝ノルビンとアレックス＝セムはともに今シーズンはファンティック XEF310 を相棒にセレクト。初日にリズムをつかんだアルビンは日曜日には調子を上げ、総合14位、外人ライダーの8位に食い込んだ。セムは一方でまだマシンをものにしきれず、外人クラスでは初日8位、日曜日は14位と出遅れたが、次のレースに向けての課題が明確になり、先に期待の持てる週末となったようだ。

イタリア選手権エンデューロの次戦は北部・トスカニーに舞台を移す。3月15-16日、カマイオーレで第3・4戦が開催される予定だ。



ケビン=クリスティーン：

選手権の最初の2戦でダブル・ウィンを獲得できて、本当にハッピーだね。スペシャル・テストは決して楽ではなかったけど、ニューマシンであるファンティック XE300 の走りは最高で、僕自身の最高のパフォーマンスを発揮できたんだ。



ピエトロ=スカルディーナ：

正直、レース前の体調は今一つで、そのうえ右の小指を負傷していたんだ。そう考えると、2戦とも2位に入れたのは上々と言っていいと思うね。まずは体調の回復に努めて、次のレースを迎えるようにしたいよ。

ジェド=エッチェルズ：

レース前にスペシャル・テストの下見をしていた時に、右足首をひねっちゃったんだ。土曜日は腫れがひどくて足がブーツに入らなかったほどだったよ。日曜日何とかレースに復帰してみたけど、リスクは取れない走りになってしまったんだ。

